



記念樹

発行者
医療法人 大分記念病院

大分市羽屋9組の5
TEL 097 - 543 - 5005



ホームページアドレス <http://oitamh.jp>

2012年7月15日 Vol.99

Government of the people, by the people, for the people.

政治に関心を持つ

皆さんよくご存知のアメリカ第16代大統領エイブラハム・リンカーンが1863年11月19日ペンシルバニア・ゲティスバーグで行ったゲティスバーグ演説の一節として良く知られている言葉です。

当時アメリカでは奴隷制度を巡って北部と南部が対立。内戦の最中になりましたが、16代大統領に当選した共和党のリンカーン大統領は演説で、八十七年前に私たちの祖先たちはこの大陸に、自由の理念から生まれ、全ての人が平等に創られているという命題に捧げられた一つの新しい国を生み出しました。いま私たちは大きな内戦の最中にあります。そしてこの内戦は、その国があるいはそのような理念から生まれ、そのような命題に捧げられたいかなる国もが、長い間持ちこたえられるものかどうかという試練なのです。私たち生きる者の使命とはむしろ、ここで戦った人々がこれまで気高く前進させた、この未完の仕事に身を捧げるといふことです。と語り、そのあとに続く言葉が「Government」で、この様な政府をこの地上から消え去らせはししないと深く決意することなのですと述べています。今読んでも私達に大きな感銘を与える言葉です。日本では1867年、封建制度からの脱却を図つての内戦(明治維新)がありました。ただアメリカの南北戦争と違って明治維新の示した新生国家のありようは国歌「君が代」と「教育勅語」

に示されているように主権在民ではありませんでした(基本は大日本帝国憲法・天皇大権)。

明治、大正のことは経験がないため置いて置くとして、1931年の満州事変で始まり、支那事変、中戦争そして太平洋戦争、15年に及ぶ戦争の歴史。その間私達は何を考えたのでしようか。東洋平和のためというプロバガンダに踊らされ、最後は敗戦。疑わしきはあるも情報のない時代では誤ったプロバガンダに踊らされても抗いようはありません。

アメリカの超重爆撃機ボーイングB29による絨毯爆撃で、昨年の東北の大震災のように日本中が焼け野原になって全てを失ってしまった挙句、国民は塗炭の苦しみを味わいながら、戦後の復興に総力を挙げて努力して来ました。

そして、大きな経済成長を果したかのように見えた最中の原子力発電所の爆発事故。放射能の世界的拡散という悲惨な事故によって解つて来たことは、私たち国民には正確な情報は何一つ伝わっていません。

いま思い起こさなければならぬことはエイブラハム・リンカーンのゲティスバーグ演説でありましよう。

私たちは今一度原点に返らねばなりません。戦後に出来た日本国憲法では国民主権を謳っています。国民の知る権利が正当に保障される国家の再建を目指して国民全てが国家に関心を持

たねばなりません。

今年(2009年)に始まった裁判員制度が3年目になるといふことで、裁判員制度についての議論が活発になっていますが、国民が国家のありように関心を持つようになったという意味でも良いことであらうと思われまます。

国家のありようを変えるためには、国民皆が政治に関心を持つことが重要であることは当然ですが、無党派層といわれる人々が大阪の維新の会に大きな関心を見せたことは、政治の流れを変えることが出来る証でもありましよう。

聖路加国際病院理事長の日野原重明先生は憲法第九条改正を阻止するために、選挙権を18才に引き下げる運動を積極的に推進されています。若者が政治に関心を持つようになれば、政治を国民のための政治に変えることが出来るに違いありません。アメリカ、イギリスを始め欧米諸国など殆どの国は18才で選挙権が取得出来るようになっていきます。若者の国政への関心を高めるためにも是非18才選挙権取得を実現させたいものです。

私たちに出来ること。先ずは政治に関心を持つこと。国家のありようを変えるため選挙権をしっかりと駆使することから創めようではありませんか。因みに私は選挙で棄権したことはありません。

疥癬にかいて

疥癬はヒゼンタニというダニが人の肌に寄生し発症する、かゆみを伴った発疹を特徴とする皮膚疾患です。性感染症の一つとして認識されていましたが、近年わが国では病院、介護施設などでの集団発生が増加し、医療および介護関係者の間で深刻な問題となつていきます。また、不潔にしていると、衣服を触っただけで感染する、患者はすべて隔離しなければならぬ、ヒゼンタニは畳やしゅうたんなどで増えるなどの誤解や偏見があることも問題です。

ヒゼンタニは非常に小さいダニで肉眼では見えません。卵から幼虫、若虫を経て成虫(オス、メス)となります。メスの成虫は手首や手のひら、指の間、足、肘、わきの下、外陰部などで皮膚の角層に疥癬トンネルと呼ばれる横穴を掘り進み、卵を産みつけます。産卵数は1日2〜3個で、1カ月間は卵を産み続けます。卵は3〜4日でかえり、そのライフサイクルは10〜14日間です。疥癬の病型には通常疥癬と角化型疥癬がありますが、その違いはヒゼンタニの感染数によるもので、通常疥癬



が数10匹以下、多くても1000匹以下であるのに対して、角化型疥癬は100万〜200万匹と非常に多く、極めて強い感染力を有します。感染者が健康であれば通常疥癬になります。高齢者や悪性腫瘍などの基礎疾患がある、ステロイド剤や免疫抑制剤を投与されているなどの理由で免疫能が低下している人に発症した場合は角化型疥癬になる可能性があり、そうなれば集団発生の原因となる可能性が高く注意が必要です。なお、発症頻度は通常疥癬が大多数で、角化型疥癬はまれです。

感染経路は人と人との接触がほとんどです。ヒゼンタニは人の体温より低い温度では動きが鈍く、また乾燥に弱く、皮膚から離れるとおおむね2〜3時間以内に死ぬと言われており、濃厚な接触がなければ通常の社会生活では感染する可能性はほとんどない

と考えられます。また、50℃以上の環境に10分以上さらされると死ぬことも分かっています。よって、適切な対応をとれば過剰に恐れる必要はありません。しかし、角化型疥癬の場合は寝具、衣類などから間接的に感染することもあり、感染を拡げないためには治療開始後1〜2週間は隔離が必要になります。

症状としては、睡眠を妨げられるほどの激しいかゆみを伴った発疹を全身に認め(通常疥癬では頭部以外)、特に夜間に強いと言われています(布団の中に入って体が温まっからかゆくなくなる)。感染後、約1〜2カ月の潜伏期間をおいて発症しますが、発疹には丘疹(赤い、ぶつぶつ)、結節、疥癬トンネル(赤い、ぶつぶつ)、結節、疥癬トンネルがあげられます。特に疥癬トンネルは疥癬だけに見られる特有なものです。

丘疹はへそを中心とした腹部、胸部、わきの下、太腿の内側、腕の内側などに、結節は外陰部やわきの下、肘、臀部にみられ、いずれもかゆみが生じます。これらは幼虫や若虫が残っていた糞や脱皮したぬけ殻に対するアレルギー反応のために赤くかゆくなり、この部位からはヒゼンタニが見つからないことがほとんどです。

治療には飲み薬(イベルメクチン)

や塗り薬(クロタミトンなど)が使われます。塗り薬が使われる場合には、塗り残しがないように通常疥癬では首から下の全身に塗る必要があります。これらの治療によりほとんどの場合は速やかに改善しますが、かゆみがしばらく残る場合もあります。衣類やシーツ類の処置については、通常疥癬では洗濯、シーツや寝具、衣類の交換などは通常通りで良いとされ、布団は日光干し、掃除も通常の方法で良いと考えられます。しかし、角化型疥癬は感染防止のために隔離が必要で、医療機関での専門的な処置が必要です。

疥癬は診断が難しく、専門の皮膚科医でも疥癬を疑って検査をしなければ見誤る可能性もあります。また、寝たきりの高齢者など訴えない患者の場合は悪化させてしまい、その結果感染を拡げてしまうことも多く、医療従事者は常に疥癬を念頭において患者の皮膚を全身くまなく観察することが必要です。また介護者においては、かゆみ止めの軟膏、特にステロイドで治らない発疹を認める患者がいた場合は、早期に皮膚科専門医を受診させ疥癬の検査をしてもう一つ心がけることが重要です。(今村)

講演

「医療現場における
クレーム対応」

講師 山村 美穂子 先生

5月10日(木)、当院の定例研修会は有限会社ファニーフェイスの山村美穂子先生を講師に迎えて「医療現場におけるクレーム対応」について講演をしていただきました。

クレームはなぜ生まれるのか。それは期待していたことと現実の差で起こること、またそこには様々な情報が隠れていること、クレームは誰が起こしたかではなく何故起きたかが重要であることを話されました。

出席者全員で近くの人とペアを組み、会話をしながらクレーム対応の方法について学びました。何よりも相手に見せる表情が大切であり、相手に対して無表情は無関心を表し、二次クレームにつながるということを痛感しました。

最後に、相手の話をしっかり聴く“三つの箱”の話を



されました。「何が起こったのか」、「どんな気持ちになったのか」、「どんな欲求(要求)なのか」、

これらを組織全体で共有するため情報をしっかり聴き取ること。電話対応でもメモをとり、この三つの箱を活用するなどトレーニングを通して傾聴が何よりも大切であることを学びました。

クレーム対応に限らず対人対応力を上げるため、今回学んだことを念頭におき、日頃から接遇の質を上げる努力が必要だと思いました。

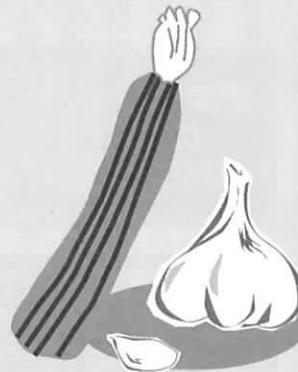
(文責 工藤瑞恵)

作りま専科

豚肉とズッキーニのさっぱり炒め

材料 (4人分)

ズッキーニ …… 1本(大きめのもの)
豚のこま切れ肉 …… 200g
オリーブオイル …… 大さじ3
にんにく …… 1かけ
塩 …… 小さじ1/2
胡椒(あれば黒胡椒) …… 適量
酢 …… 大さじ1



メモ

ズッキーニは油と相性の良い野菜です。油で炒めることでズッキーニに多く含まれるカロテンの吸収率をアップさせ、体の免疫を強化し、風邪の予防や粘膜の保護に効果があります。

作り方

- ①. にんにくはみじん切りにし、ズッキーニは半月切りにする。豚肉は一口大に切る。
- ②. フライパンにオリーブオイルを入れ、にんにくを弱火で加熱し香りをうつす。
- ③. 香りが出たら豚肉を入れ、ほぐしながら強火で炒める。
- ④. 豚肉の色が変わってきたらズッキーニを入れ、クタツとなるまで炒める。
- ⑤. 塩、胡椒、酢を入れ、軽く炒めて馴染ませたら出来上がり。



インフォメーション



■大分記念病院の皆さんが優しく笑顔がいいなと思いました。看護師さんの働く姿が素敵で、私も皆さんのような看護師になりたいと思いました。

■血圧や脈拍測定を教えてもらいながら看護体験が出来て良かったです。この体験を忘れずに夢に向かって頑張りたいと思います。

■改めて看護師の仕事は大変だと思いましたが、血圧測定をした時に患者さんから笑顔で「ありがとう」と言われて嬉しかったです。医療従事者になれるよう努力したいと思いました。

■透析室、内視鏡室の見学が印象に残りました。病院で働く様々な職種の方の話を直接聞くことが出来て、今後の進路の参考になりました。



近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの生誕を記念して1990年より5月12日が看護の日と制定されています。今年も全国各地で多彩なイベントが開催されました。

当院では、5月8日(火)に大分県立大分南高等学校から5名の高校生を迎えて「ふれあい看護体験」実習が行われました。看護体験を終えた皆さんの感想です。



わずかな時間での看護体験や病院見学でしたが、患者さんと関わる職員の話の聞いたり、患者さんと直接触れ合ったことで看護の魅力を知るきっかけになれば嬉しく思います。近い将来、ここ大分記念病院で一緒に仕事出来ることを楽しみにしています。



■看護師さんと一緒に患者さんの食事の介助をしたり、患者さんの体を拭かせてもらった時に「すっきりした、ありがとう」と言われて嬉しかったです。貴重な体験が出来て、将来看護師になりたいという気持ちが強くなりました。



新入職員の紹介

今年の6月に入社した
新入職員をご紹介します。
どうぞよろしくお願いいたします。



工藤 美由紀(看護部)

患者さんとの出会い、スタッフの皆さんとの出会いを大切に、笑顔で温かな看護を目指して頑張ります。



あきこ
西村 暁子(看護部)

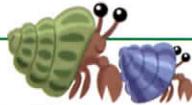
患者さんとの時間を大切にして、自分本位にならない看護を提供できる看護師になりたいと思います。



あやみ
末松 文美(看護部)

長い入院生活を穏やかに過ごせるよう、患者さんのお世話をさせていただきたいと思います。

編集後記



今回の記念樹は、巻頭言に高田先生執筆の「政治に関心を持とう」を掲載しています。より多くの人達が、まずは政治に関心を持ち、選挙について考えていくことが重要なのではないのでしょうか。

また院内の行事では、ふれあい看護の日で大分南高等学校の学生の皆さんに看護の1日体験をしてもらったことを取り上げました。皆さんには今後も夢に向かって頑張ってもらいたいと思います。そして5月の職員研修会「医療現場におけるクレーム対応」では、ロールプレイング形式で趣向をこらした講義をしていただき、より実践に近い研修が出来ました。(矢野)

お盆診療のお知らせ

8月13日(月)～15日(水)は
通常どおり診療いたします。
お盆休みはございません。
診療予約専用電話 097-545-4890

医療法人 大分記念病院

基本理念

- 1) 私達は病院各部門が一致協力して、患者中心のチーム医療を実践することにより、患者満足度と幸福に貢献します。
- 2) 私達は常に診療レベルと看護ケアの向上を図ると共に地域住民に安全で良質の医療を提供します。
- 3) 私達は地域の医療・福祉機関との緊密な連携を保ちながら地域完結型医療を実践します。

基本方針

- 1) 専門的医療レベルと医のアートを兼ね備えた医師による全人的医療を患者の皆様に提供します。
- 2) 患者の皆様の立場に立って、信頼と安全の確保に全力を尽くします。
- 3) 患者の皆様の満足度を高めるべく、心のかもった医療サービスに努めます。

大分記念病院ホームページはこちらから

大分記念病院

検索

